

# 都内中小企業の事業資金に関する調査

(平成 25 年 5 月調査)

## 《 概要 》

- 主な取引金融機関は、全体では「都市銀行」が57.4%、次いで「信用金庫」が30.6%であった。この2つで全体の約9割を占めている。
- 主な取引金融機関の借入や返済に対する姿勢をDI値（「緩やか」－「厳しい」）でみると、全体では29.4で、前回の22.1から7.3ポイントと大きく上昇、全業種・全取引金融機関でもDI値が上昇し、全体的に緩和した。
- 主な取引金融機関からの借入金利の傾向は、「変化なし」が69.9%と最も高い。
- 最近の借入金利は、「2%未満」が43.0%と最も高く、前回の38.1%から約5ポイント増加、全業種・全規模でも「2%未満」が増加し、金利水準は全体的に低下している。
- 今後3か月間の資金需要をDI値（「増加する」－「減少する」）でみると、全体では18.7と、前回（24.0）と比べて減少した。
- 平成24年11月以降に、セーフティネット保証による融資の申込みをしたことがあるかどうかについてみると、「申込みをしたことがある」が13.5%となった。

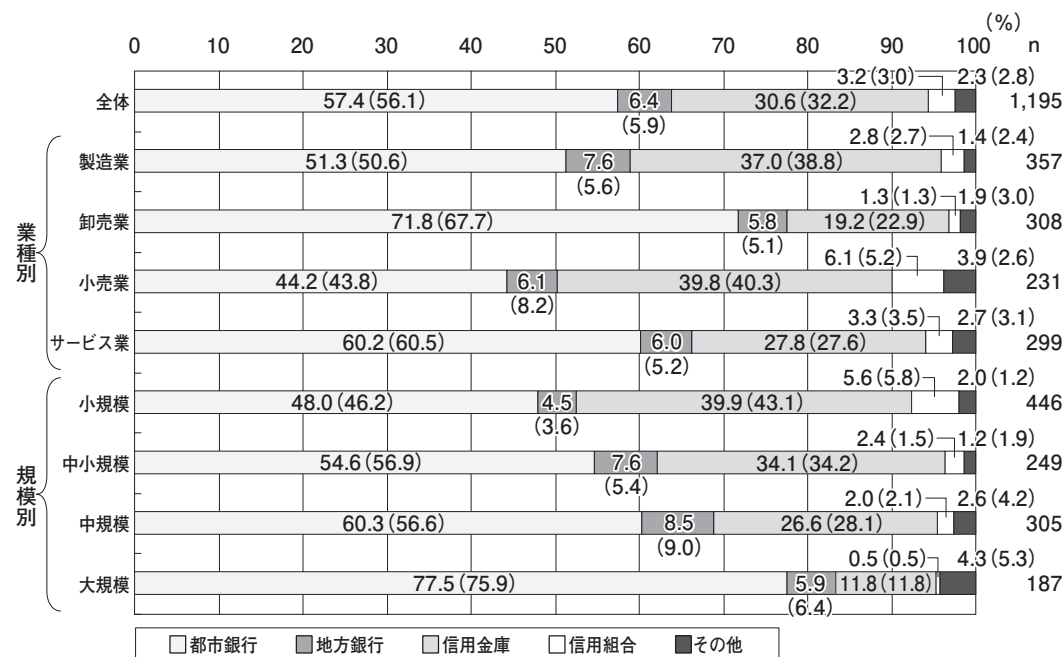
### 1 主な取引金融機関

主な取引金融機関については、全体では「都市銀行」が57.4%（前回56.1%）、次いで「信用金庫」が30.6%（同32.2%）となった。前回と同様に、この2つで全体の約9割を占めている。（図表1）

業種別にみても、全業種で「都市銀行」が最も高く、卸売業（71.8%）とサービス業（60.2%）で特に高くなっている。一方、製造業と小売業では、第2位の「信用金庫」も約4割と高くなっている。

規模別にみても、全ての規模で「都市銀行」が最も高い。規模が大きくなるほどその割合が高くなり、大規模では77.5%と8割近くを占めている。一方、「信用金庫」は、規模が小さくなるほど割合が高まり、小規模（39.9%）では約4割に達している。

図表 1 主な取引金融機関



注) 無回答を除き集計。規模不明を除く。( )内は前回値(平成24年11月調査)。

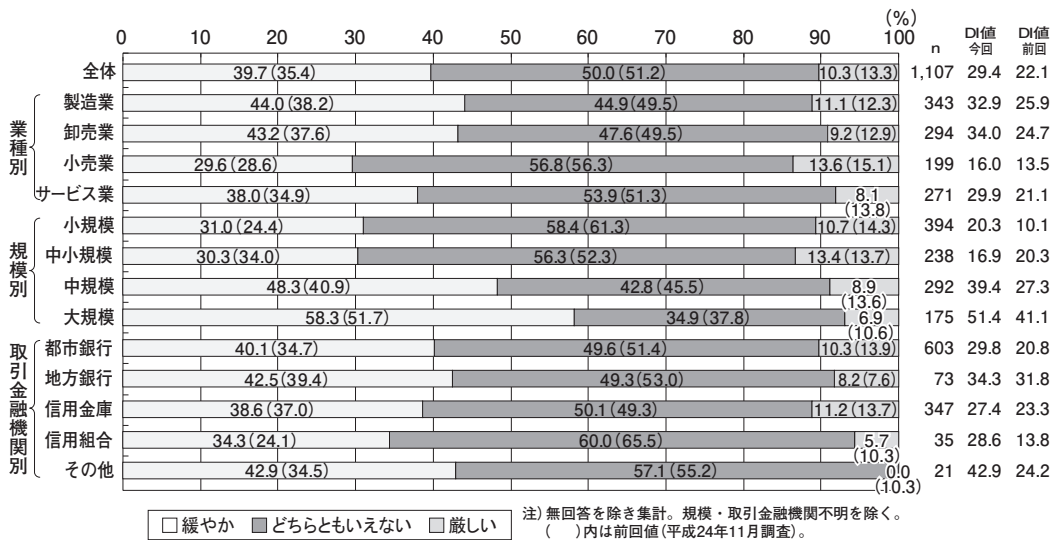
### 2 借入や返済に対する姿勢

主な取引金融機関の借入や返済に対する姿勢をDI値（「緩やか」－「厳しい」）でみると、全体では29.4で、前回の22.1から7.3ポイントと大きく上昇した。全業種・全取引金融機関でDI値が上昇し、借入や返済に対する姿勢は全体的に緩和した。（図表2）

業種別にみると、卸売業34.0（前回24.7）とサービス業29.9（同21.1）で改善幅が大きい。規模別にみると、中小規模16.9（前回20.3）のみ、「緩やか」が減少したことからDI値が低下した。他の規模は揃って10ポイント以上DI値が上昇しており、小規模と中小規模でDI値が逆転した。

取引金融機関別にみると、DI値は、回答企業の取引割合が高い都市銀行で29.8と、前回（20.8）から9ポイントの大幅な改善となった。

図表2 取引金融機関の借入等に対する姿勢

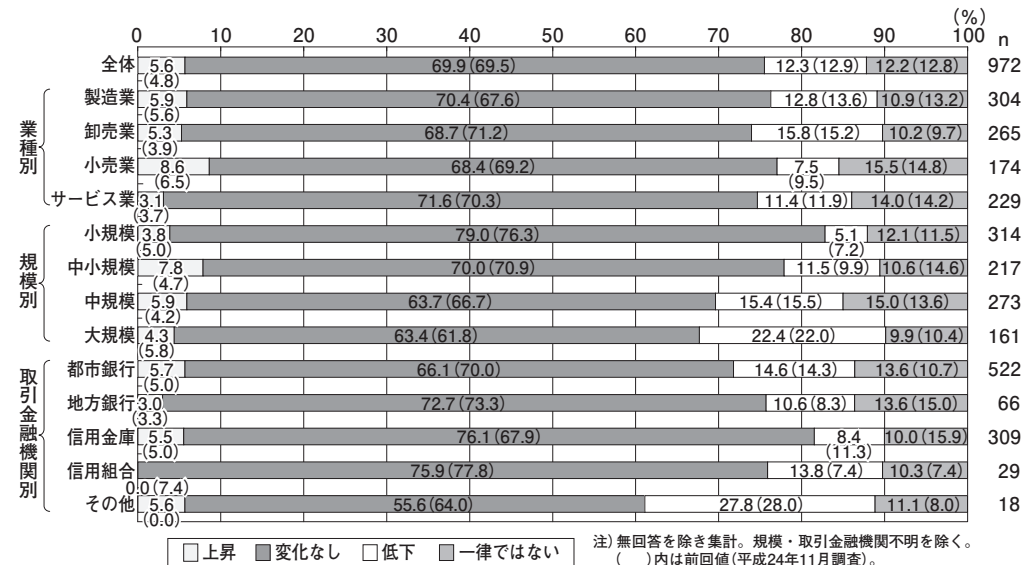


### 3 主な取引金融機関からの借入金利

#### (1) 金利傾向

主な取引金融機関からの借入金利の傾向は、「変化なし」が69.9%（前回69.5%）と最も高い。業種別・規模別・取引金融機関別でも全ての区分で「変化なし」が最も高く、前回と比べても大きな変化はなかった。（図表3）

図表3 金利傾向



#### (2) 金利水準

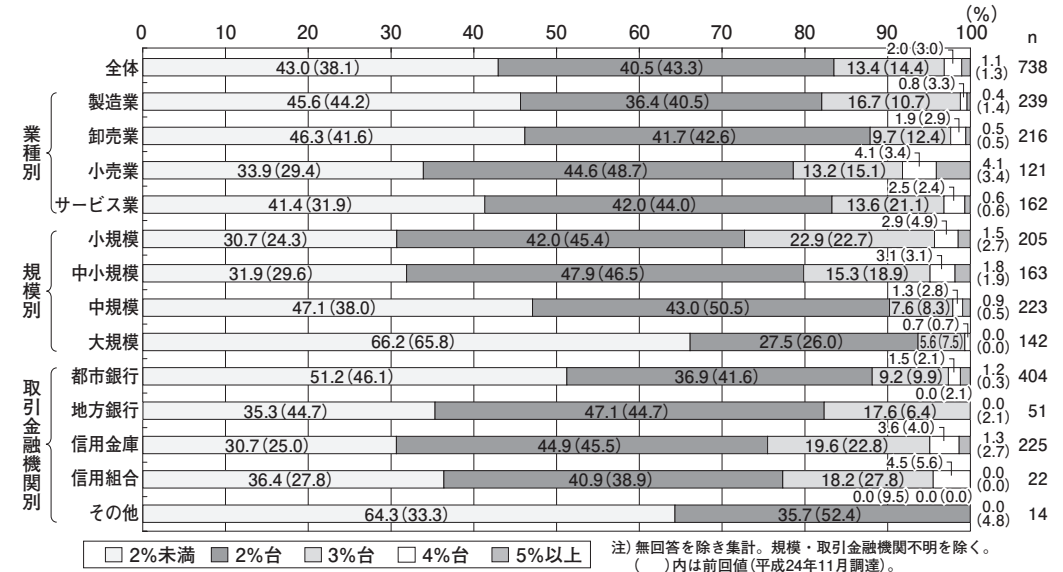
最近の借入金利は、「2%未満」が43.0%と最も高く、前回の38.1%から約5ポイント増加した。一方、「2%台」以上の各区分では、いずれも前回に比べて割合が低下した。（図表4）

業種別にみると、製造業と卸売業では「2%未満」が最も高くなったが、小売業とサービス業では「2%台」が「2%未満」を上回っている。前回と比べると、サービス業では「2%未満」41.4%（前回31.9%）が大幅に増加した一方で、「3%台」13.6%（同21.1%）が低下しており、他の業種に比べて金利負担が減少傾向にある。

規模別にみると、規模が大きくなるほど「2%未満」が高くなっている。前回と比べると中規模47.1%（前回38.0%）と小規模30.7%（同24.3%）で「2%未満」の増加幅が大きい。

取引金融機関別にみると、都市銀行では「2%未満」（51.2%）が5割を超えたが、地方銀行・信用金庫・信用組合では「2%台」が最も高くなっている。前回と比べると、「2%未満」が、回答企業の取引割合が高い都市銀行51.2%（前回46.1%）と信用金庫30.7%（同25.0%）で5ポイント以上増加した。

図表4 金利水準



### 4 今後3か月間の資金需要

今後3か月間の資金需要をDI値（「増加する」－「減少する」）でみると、全体では18.7と、前回（24.0）と比べて減少した。（図表5）

業種別にみると、DI値は全業種で減少しており、特に小売業の下げ幅が大きい。規模別にみると、小規模・中小規模でDI値が減少し、中規模・大規模で増加した。

図表5 資金需要

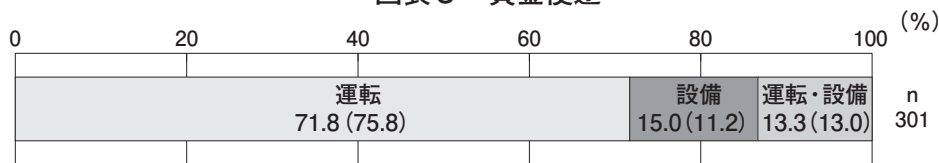


(1) 資金使途

資金増加分の資金使途をみると、「運転」(71.8%)が最も多く、次いで「設備」が15.0%、「運転・設備」が13.3%となった。(図表6)

前回調査と比べると、「設備」が増加し、「運転」が減少している。

図表6 資金使途

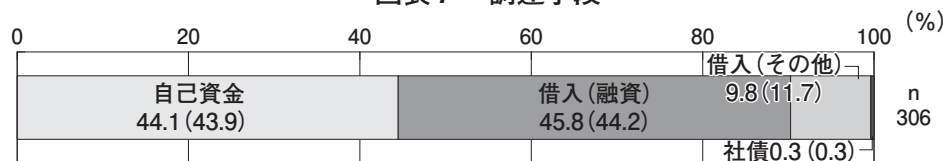


注) 資金需要が増加する企業につき、無回答を除き集計。( )内は前回値 (平成24年11月調査)。

(2) 調達手段

資金増加分の調達手段としては、「借入(融資)」が45.8%と最も高く、次いで「自己資金」が44.1%となり、いずれも前回と比べて割合が高くなっている。一方、「借入(その他)」(9.8%)は、前回よりも減少した。(図表7)

図表7 調達手段



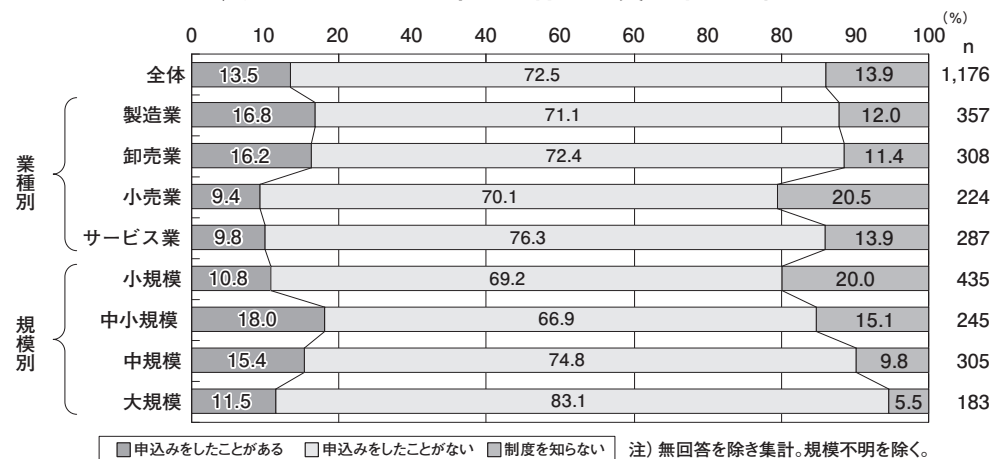
注) 資金需要が増加する企業につき、無回答を除き集計。( )内は前回値 (平成24年11月調査)。

5 セーフティネット保証による融資の申込み状況

平成24年11月以降に、セーフティネット保証による融資の申込みをしたことがあるかどうかについてみると、「申込みをしたことがある」が13.5%となった。(図表8)

業種別にみると、「申込みをしたことがある」は、製造業(16.8%)と卸売業(16.2%)でやや高く、小売業では「制度を知らない」が20.5%と他の業種に比べて高くなった。規模別にみると、「申込みをしたことがある」は、中小規模(18.0%)が最も高かった。

図表8 セーフティネット保証融資の申込み状況



セーフティネット保証による融資の申込みをしたことがある企業について、その結果をみると、全体では「申込みどおり(満額)」が64.3%となった。(図表9)

業種別にみると、「申込みどおり(満額)」は製造業で71.2%と最も高くなったが、小売業では52.4%と半数程度であった。

規模別にみると、中規模・大規模で、「申込みどおり(満額)」が7割を超えている。

図表9 セーフティネット保証融資の申込み結果

